

平成17年度 第15回 教育研究審議会議事要録

日 時 平成17年10月11日(火) 13:30~15:00

場 所 北方キャンパス本館 E701 会議室

出席者 <委員> 矢田学長、棚次副学長、国武副学長、羽田野事務局長、乗口外国語学部長、近藤文学部長、齋藤経済学部長、小野法学部長、高橋国際環境工学部長、谷村社会システム研究科長、迎全学教務主事、山崎(克) 産業社会研究所長、山崎(勇) 国際教育交流センター所長

配布資料

- 1-1 北九州市立大学改革プラン(案)第2弾
- 1-2 入試から就職まで一貫した教育システムの体系化
大学の教育・研究をいかした社会貢献の推進
- 2 4 大学スクラム講座について

(冒頭の報告・確認)

- ・赤塚学生部長が欠席のため、オブザーバー出席の岡住学生部次長および乗口外国語学部長から、学友会との交渉等について報告。
- ・第14回教育研究審議会議事録(案)について確認

第1号 中期計画に関する各種委員会の報告について

*各種委員会からの報告を踏まえ、資料1のとおり北九州市立大学改革プラン(案)を提案。

- 産業社会研究所が産業社会関係資料を集積することは現在の事務体制では困難である。また、学外資金の獲得に努めたとしても、それにより産学連携を担当する職員を常に確保できるかは疑問である。
- 「国際交流」が「社会連携」の中に位置付けられているが、「教育の充実」として整理すべき面もあるのではないかと。
- 意見については後日、文書でいただきたい。
- この改革プランで、特に重要な事項は何か。
- 入試センター、基盤教育センター、キャリア支援センターの設置
 - ・副学長3名体制
 - ・教授会常任委員会の改組 などである。今後、予算、人員、手続等を踏まえ、優先順位や実施体制、日程を定めていきたい。
- 新しく設置する三センター等の教員組織はどうなるのか。
- 教員が移籍するのは基盤教育センターとビジネススクール。キャリア支援センター等で採用する教員については、研究者ではなく実務経験のある人を予定している。
- 基盤教育センターの教員の選考方法はどのように行う予定か。
- 同センターの理念、選考基準・選考ルール等を整理・検討した上で、教育研究審議会にて論議したい。

【議長】「北九州市立大学改革プラン（案）」について、各学部等、各種委員会等から意見を10月20日（木）までに提出いただき、次回の教育研究審議会にて意見をとりまとめることとしてよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 4大学（北九州市立大学、九州工業大学、九州歯科大学、産業医科大学）による公開講座「4大学スクラム講座」の実施、4大学の連携方策の検討・協議について学長から報告があった。
- ② 基盤教育センター設置準備委員会のメンバー変更について同委員会委員長である棚次副学長から報告があった。
- ③ 次回の審議会を10月25日（火）に開催する予定である旨、事務局から説明があった。